

## 「スローフード・スローライフ」

大量生産、大量消費に代表されるスピードアップした暮らしをしている私たちですが、今その生活を見直そうという活動「スローフード・スローライフ」が行われています。

春にキュウリやトマトの施設園芸や、夏にキャベツや白菜といった高原野菜など特別なものは除きますが、いなべ市内で旬にできるおいしい野菜・果物が採れます。

遠くから冷蔵トラック・コンテナで運ばれてくる野菜を食べるより少々青虫がついていても、新鮮で「シャキット」とした「旬」の野菜が市内の農産物直売所（朝市）で販売もされています。

また、近所で作られた野菜や果物は、「もってきた」「ようけ採れたで、少しもってきたでな」とおす分けの習慣があり、近所での助け合いや結いの風習が残っているように、お付き合いの根幹がありました。地域で採れた野菜や果物は、ふるさとを思う気持ちが育ったり思いださせてくれたりします。例えば40歳以上の方なら子どものころ、夏の暑い日に井戸や出水で冷やしたスイカやウリを食べたことがあるかと思います。冷蔵庫に入っていないくても、冷たくて大変甘くおいしかったことを思い出してみてください。今この飽食の時代に、「スローフード・スローライフ」で新しいゆったりとした生活を楽しんでみてはいかがでしょうか。

地産地消事業では、「スローライフ・スローフード」な生活を推進しています。



紫色が濃いナスビ



井水に冷やし、出番を待つスイカ



丸々とおもしろいスイカ

### ●「スローライフ」〔(和製英語) slow+life〕

何事もサクサクと手早いのが一番。スピードが命さ、というのは現代人の常識ですが、本当にそうでしょうか？ スピードや効率を重視した現代社会とは対照的に、ゆったりと、マイペースで人生を楽しもうというライフスタイルのことを、スローライフと言います。

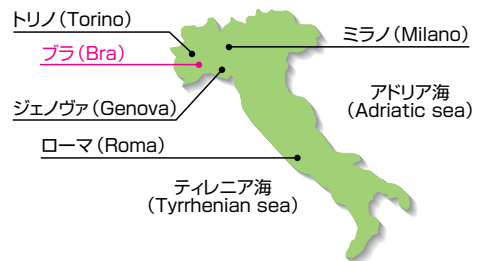
### ●「スローフード」〔slow food〕

イタリアのブラ（Bra）という小さな町からスタートした、多忙な現代人の食生活を見直す運動で、単にファストフード（大量生産の画一的な味）の対極の言葉としてだけでなく、

- ① 消えゆくおそれのある伝統的な食材や料理、質のよい食品、酒を守る
- ② 質のよい素材を提供する小生産者を守る
- ③ 子どもたちを含め、消費者に味の教育を進める

これらのことがテーマに掲げられ、各地に残る食文化を尊重し、将来に伝えていこうという活動です。

### スローフード運動発祥の地



夏本番のトウモロコシ

問い合わせ先 藤原庁舎 農林水産課 ☎46-6306 FAX46-6319

## いなべマイタウン

### ボランティアの素晴らしさ



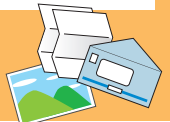
心に余裕ができ、何かボランティア活動をしたかった矢先、青川峡キャンプパークで、ボランティアをさせていただくことになりました。

自分自身も楽しめ、相手の方も楽しんでもらえるというボランティアの素晴らしさを改めて実感しています。最近では、近所の子どもたちと飾り物・クリスマスリース等を作っています。

北勢町 小高正郎さん(☎72-4619)から提供

\*みなさまの身近なできごとをお知らせください\*

読者のみなさまから投稿をお待ちしています。また、いなべ市内で撮影された写真についても併せて募集していますので、どんどんお寄せください。



### いなべ市情報誌「Link」

発行と編集 Vol.21

平成17年8月1日発行

いなべ市役所 企画部 広聴広報課

〒511-0293

三重県いなべ市員弁町笠田新田111番地

☎0594-74-5819 FAX 0594-74-5822

http://www.city.inabe.mie.jp

みなさまの声を  
お聞かせください。

